

とちぎテレビを利用した「データ放送」をご利用ください

●操作手順

※ご使用のリモコンによっては、多少操作が異なる場合があります。

- ①チャンネルを「とちぎテレビ」に合わせます。
- ②リモコンの【d】ボタンを押してください。
- ③右の図1のように「データ放送」の画面になります。
- ④リモコンの矢印ボタン【▲▼】で見たい項目枠に移動させ、【決定】ボタンを押します。
- ⑤図2のように画面が変わり、掲載されている項目の一覧が表示されます。
- ⑥一覧の中から読みたい記事を矢印ボタン【▲▼】で選び【決定】ボタンを押します。
- ⑦図3のように記事の詳細が表示されます。
- ⑧【決定】か【戻る】ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

テレビ映像を全画面表示に戻すには、もう一度【d】ボタンを押してください。

■問い合わせ

情報政策課広報広聴係 TEL (23) 8700

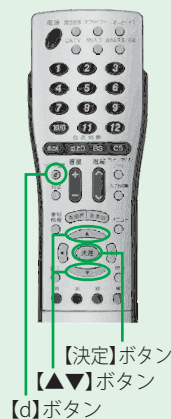
図1



図2



図3



【d】ボタン



ふれあいの丘天文館だより



★金環日食 いよいよ本番!!

詳細は広報おたわら 5月1日号14ページをご覧ください。

★6月6日 金星が太陽面を通過

～次回は105年後 2117年12月11日

「宵の明星」として、夕方の西の空でひときわ明るく輝いていた金星も、6月6日の日中には地球と太陽の間を通りすぎ、明け方の東の空に見える「明けの明星」へと移っていきます。6月6日には金星がちょうど太陽の表面を通りすぎていくときの様子を地球から見るができます。これは「金星の太陽面通過」あるいは「金星の日面経過」とよばれ大変めずらしい現象です。

このとき金星は、夜の側が地球に向いているため(新月と同じように)黒くなって見えます。「金環日食」のときの月の見かけの大きさは太陽とほとんど変わりませんが、「金星の日面通過」のときの金星の見かけの大きさは月よりずっと小さい(太陽のざっと32分の1ほど)ので、黒い丸い点となって太陽の表面を通り過ぎていきます。この様子を見るには、強い光と熱を出している太陽そのものを見ることとなりますので、金環日食を見る

ときと同じように細心の注意が必要です。見たい方はイベントに参加されると安全です。

★天文現象観望会『金星日面通過をみよう』参加者募集!

◆日時 6月6日(水)午前6時30分～午後1時45分(この間に自由にご参加できます)

◆場所 ふれあいの丘天文館

◆内容 日中、金星が太陽の表面を黒い丸い点となって通りすぎていく大変めずらしい現象を観望します。(雨天曇天時は中止。当日は電話で確認してください。)

◆対象 中学生以上(中学生は保護者同伴)

◆定員 15名

●参加費 中学生100円、大人300円(入館料として)

◆申込方法 5月21日(月)から、電話または直接ふれあいの丘天文館まで申し込み。

◆受付時間 午前9時～午後9時

★6月4日 部分月食 ～肉眼でも見られます

月が出た直後の午後7時ごろから欠けはじめ、8時ごろには最大に欠け(食分約37%)、9時ごろに終了します。

■申し込み・問い合わせ

ふれあいの丘天文館 TEL (28) 3254

☞ <http://www.fureai-tenmonkan.jp/>